

**全東京写真連盟**  
**撮影会写真コンクール**  
**入賞作品集**



審査対象 水元花菖蒲ゆかた撮影会  
撮影日 2019年6月2日  
審査日 2019年8月11日  
審査員：HARUKI先生



金 賞  
「夢で逢えたら」  
星野 祐一 様  
モデル 安住 実逢

**審査員：HARUKI先生 講評**

光線（ひかり）良し、モデルさんの表情良し、ポーズ良し、で決まりましたね。そして、それらの良い条件の中でも瞬間を上手く捉えた作者のフレーミングもすこぶる良～しです（笑）。生憎の曇り空だったようですが、ポートレート撮影の場合には功を奏することも多いのです。強い陽射しでコントラストの高い写真も素敵なのですがフラット光が生み出す柔らかい肌描写を表現する時には向いていますし、今回の浴衣のように和装の場合は特にマッチしています。上方から降り注ぐ柔らかな光線を下からも支え効果のよってより一層美しい光線状態になり、何よりもフォーカスが顔と手前に来た浴衣とマッチングした色味のマニキュアが美しい指先にも合焦させたことですね。大人数の撮影会では皆さんの多くが70-200ズーム望遠レンズでモデルの顔アップや上半身ばかりになりがちですが、中望遠や標準、そしてややワイドのレンズなども使ってどんどん攻めてみてください☆



銀 賞  
「かわいい笑顔」  
鵜飼 典彦 様  
モデル 吉村 もか

**審査員：HARUKI先生 講評**

直球勝負で躊躇ないストレートパンチが決まった時のような手放しで清々しい1コマです。

緑のシーズンの菖蒲の花びらが背景にボケながら映し出される中、あどけなさが残るような動きと表情のモデルさんが屈託のない素直な作品としてプリントにも焼き付けられています。彼女の着ている大柄な花びら模様の浴衣の柄がまた生き活きとした底抜けの元気を演出するうえでも大事な要素になりました。フレッシュ！！



銅 賞  
「青の印象」  
藤本 健介 様  
モデル 安住 実逢

**審査員：HARUKI先生 講評**

番傘の青紫色、そして紫陽花柄が染められた浴衣の地色の青から来ているのでしょうか？「青の印象」というタイトルが見ているコチラ側にも伝わってくるような素晴らしいタイトルだと思いました。もちろん写真そのものも素晴らしいのですが（笑）。

冒頭に触れた色味としての「青」だけじゃなくて、モデルさんの醸し出す雰囲気や表情が青春とか若さをとかを表すイメージとしての「青」にも受け止められます。凛とした涼しげな目線に射られた感じさえします。今回の銀賞作品とは真逆のイメージで憂いを秘めた仕草が見る側を惹き付けるモデルさんですね。

コンテストとしては銅賞とさせていただきましたが個人的には今回一番好きな作品です☆



入 選  
「下町娘」  
荒井 秀雄 様  
モデル 沖村 彩花



入 選  
「あの夏、キミと」  
高橋 敏行 様  
モデル 沖村 彩花



入 選  
「エレガンス」  
堤 博史 様  
モデル 茅原田 真衣



入 選  
「願い事」  
中山 昌幸 様  
モデル 谷内田 楓



入 選  
「そよ風」  
仁礼 英銘 様  
モデル 茅原田 真衣



佳 作  
「「眼差し」」  
大島 敏之 様  
モデル 安住 実逢



佳 作  
「水元娘」  
小幡 大輔 様  
モデル 沖村 彩花



佳 作  
「遠くを見る」  
斉藤 貴生 様  
モデル 星邨 雪乃



佳 作  
「恥らい」  
大門 浩司 様  
モデル 安住 実逢



佳 作  
「そ〜っと覗いて見てごらん」  
高橋 壯太 様  
モデル 沖村 彩花



佳 作  
「あの日と同じ笑顔のまままで」  
寺島 弘行 様  
モデル nasa



佳 作  
「微笑」  
中山 静男 様  
モデル 安住 実逢



佳 作  
「気ままにアダージオ」  
門間 正之 様  
モデル 安住 実逢



佳 作  
「君のこと」  
横川 哲夫 様  
モデル 沖村 彩花



佳 作  
「うつ向き美人」  
米沢 健二 様  
モデル 茅原田 真衣



次 点  
「水辺にて」  
天谷 昌司 様  
モデル 敦賀あいら



次 点  
「水辺」  
石川 玲 様  
モデル 安住 実逢



次 点  
「かわい〜ネ」  
小倉 良二 様  
モデル 吉村 もか



次 点  
「穏やかな眼差し」  
河村 徳助 様  
モデル 敦賀あいら



次 点  
「赤い口紅の女」  
木下 仁志 様  
モデル 美羽希。



次 点  
「午前 1 1 時ころ」  
篠塚 剛志 様  
モデル 美羽希。



次 点  
「振り向いて」  
豊田 光司 様  
モデル 茅原田 真衣



次 点  
「花に囲まれて」  
中牟田 剛 様  
モデル 吉村 もか



次 点  
「菖蒲棚にて・・・」  
日向野 遼平 様  
モデル 沖村 彩花



次 点  
「まちぶせ」  
横塚 英夫 様  
モデル 吉村 もか

## ■ 総評

ふたつの撮影会を通して感じたのは新人モデルさんが加わったことで活性化したのでしょうか、応募作品を拝見した印象として以前よりも個性が光る作品が多くなったような気がします。素晴らしい事ですね！！

気になったこととしては、せっかくの良い写真が撮れても、ありがちのタイトルだったりベタだったりすると悲しくなります。といっても妙に気取ったりする必要はないのです。もう少しタイトルにも気を使ってもらえたら良いかなーって思います。

もっとも大事なのは写真そのものである事は言うまでも無いのですが、その次にタイトルも重要な要素です。コンテストなど人に見てもらう場合には、“写真”と“タイトル”が融合してはじめて「作品」として伝わるものだという思いを意識していただければ幸いです。

2019年8月18日

H A R U K I